

第1学年

理科

1 理科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

自然の事物現象に常に疑問を持ち、それについて考えて調べる習慣をつけることによって、よりよく問題解決する能力を身につけよう。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。（知識・技能）
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。（思考・判断・表現）
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス1（啓林館）	持ち物	教科書
	副教材 理科ノート 理科の完全学習 グラフィックサイエンス理科資料集		理科ノート 理科の完全学習 グラフィックサイエンス理科資料集 ファイル

4 学習の取り組み方

学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ① 粘り強く学習に取り組む。 ・まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使って学習する。 ・自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。 ② 自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整する。 ・何事もじっくり考えて、学習方法の工夫をする。 ・わからないところを明確にして、必ず克服する。（先生に質問・友だちに聞く・調べる） 〈授業中〉 ・話をしっかり聞く。特に実験をする前は、実験方法をしっかり聞き、実験方法を理解してから実験ができるようにしておく。 ・ノートは黒板に書いたことだけでなく、先生の話が重要と感じたときは、ノートに書いておく。また、自分がテストの前に見返してわかりやすいように工夫しておくといよい。 ・学習内容に興味を持ち、積極的に挙手をして発表する態度で授業にのぞむ。 ・自然について、新しいことを発見できた、知ることができた、“喜び”を感じられたらGOOD!! 〈家庭学習において〉 ・授業後の“復習”が特に大切。実験したことや学習したことをしっかり身につける。 ・宿題がでたときは、期限内に終わておく。 〈定期テストに備えて〉 ・日頃からしっかり復習し、問題練習を中心に学習が進められるようにする。 ・定期テスト時にノート・ワーク・ファイル点検を行う。日頃から、工夫してまとめておく。
	学習上の注意等 ・チャイムが鳴るまでには、授業の準備を終え、着席する。 ・理科室へ移動する場合もチャイムが鳴るまでに移動する。 ・理科室で実験をするときは、まず、実験方法をしっかり聞き、準備・実験・観察・片づけを班全体で協力しあう。人任せにせず、自分が理解をして事故の無いように注意して行う。 ・宿題の提出期限を守る。 ・忘れ物をしない。 ・ノートは黒板に書いたことだけでなく、先生の話が重要と感じたときは、ノートに書いておく。また、自分がテストの前に見返してみてもわかりやすいように工夫しておく。

5 1年間の学習計画

6 評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
前期	4	○オリエンテーション 自然の中にあふれる生命 生命 いろいろな生物とその共通点	中間	主体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	○ 自己の発想に基づいた課題を持ち学習に取り組み、その学習から新たな課題を見いだすことができる。 ○ 学習した内容の未到達部分を克服するために、粘り強く取り組むことができる。 ○ 自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	授業態度・忘れ物・発表など レポートやノート等の提出物 各種レポートにおける感想 など
	5	1章 植物の特徴と分類				
	6	2章 動物の特徴と分類				
	7	物質 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質				
	9	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	期末	思考・判断・表現	○ 自己の学習課題を設定することができる。 ○ 論理的な思考ができているか。 〔課題に対する予想、結果に基づいた考察〕 ○ 新たな学習課題を設定することができる。 ○ 思考を問う問題を解くことができる。 ○ 発表の内容 〔発想・的確な内容・推論・理由・考察などの面〕	実験・観察レポートの考察 各種レポート（課題など） ペーパーテスト 定期テスト 小テスト 授業態度・発表 など
後期	10	エネルギー 光・音・力による現象 1章 光による現象	中間	知識・技能	○ 実験・観察の基本操作 ○ 実験・観察レポートの工夫 ○ ノートへの記録の工夫 ○ 作図や基本操作を問う問題を解くことができる。 ○ 発表のしかた（表現面から） ○ 知識・理解を問う問題を解くことができる。	実験態度・技能 レポートにおける構成の工夫 ペーパーテスト 定期テスト 小テスト など
	11	2章 音による現象				
	12	3章 力による現象				
	1	地球 活きている地球 1章 身近な大地	学年末	知識・技能	○ 実験・観察の基本操作 ○ 実験・観察レポートの工夫 ○ ノートへの記録の工夫 ○ 作図や基本操作を問う問題を解くことができる。 ○ 発表のしかた（表現面から） ○ 知識・理解を問う問題を解くことができる。	実験態度・技能 レポートにおける構成の工夫 ペーパーテスト 定期テスト 小テスト など
	2	2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地				
	3	4章 語る大地				

第2学年

理科

1 理科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

自然の事物現象に常に疑問を持ち、それについて考えて調べる習慣をつけることによって、よりよく問題解決する能力を身につけよう。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。（知識・技能）
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。（思考・判断・表現）
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス2（啓林館）	持ち物	教科書
	副教材 積み上げ理科2年（単元プリント） 理科の自主学習（ワーク）		大学ノート 理科の自主学習（ワーク） ファイル iPad

4 学習の取り組み方

学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ① 粘り強く学習に取り組む。 ・まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使って学習する。 ・自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。 ② 自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整する。 ・何事もじっくり考えて、学習方法の工夫をする。 ・わからないところを明確にして、必ず克服する。（先生に質問・友だちに聞く・調べる） 〈授業中〉 ・話をしっかり聞く。特に実験をする前は、実験方法をしっかり聞き、実験方法を理解してから実験ができるようにしておく。 ・ノートは黒板に書いたことだけでなく、先生の話が重要と感じたときは、ノートに書いておく。また、自分がテストの前に見返してわかりやすいように工夫しておくといよい。 ・学習内容に興味を持ち、積極的に挙手をして発表する態度で授業にのぞむ。 ・自然について、新しいことを発見できた、知ることができた、“喜び”を感じられたらGOOD!! 〈家庭学習において〉 ・授業後の“復習”が特に大切。実験したことや学習したことをしっかり身につける。 ・宿題がでたときは、期限内に終えておく。 〈定期テストに備えて〉 ・日頃からしっかり復習し、問題練習を中心に学習が進められるようにする。 ・定期テスト時にノート・ワークの点検を行う。日頃から、工夫してまとめておく。
	学習上の注意等 ・チャイムが鳴るまでには、授業の準備を終え、着席する。 ・理科室へ移動する場合もチャイムが鳴るまでに移動する。 ・理科室で実験をするときは、まず、実験方法をしっかり聞き、準備・実験・観察・片づけを班全体で協力しあう。人任せにせず、自分が理解をして事故の無いように注意して行う。 ・宿題の提出期限を守る。 ・忘れ物をしない。 ・ノートは黒板に書いたことだけでなく、先生の話が重要と感じたときは、ノートに書いておく。また、自分がテストの前に見返してみてもわかりやすいように工夫しておく。

5 1年間の学習計画

学期	月	単 元 計 画	課 題
前期	4	物質 化学変化と原子・分子	中間
	1章	物質の成り立ち	
	5	2章 物質の表し方	
	3章	さまざまな化学変化	
	6	4章 化学変化と物質の質量	
	7	生命 生物の体のつくりとはたらき	
	1章	生物の体をつくるもの	
	9	2章 植物の体のつくりとはたらき	
	3章	動物の体のつくりとはたらき	
後期	4章	動物の行動のしくみ	期末
	10	地球 地球の大気と天気の変化	中間
	1章	地球をとり巻く大気の様子	
	11	2章 大気中の水の変化	
	3章	天気の変化と大気の動き	
	12	4章 大気の動きと日本の四季	
	1	エネルギー 電流とその利用	
	2	1章 電流の性質	
	2章	電流の正体	
	3	3章 電流と磁界	学年末

6 評価について

評価の観点		評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	○自己の発想に基づいた課題を持ち学習に取り組み、その学習から新たな課題を見いだすことができる。 ○学習した内容の未到達部分を克服するために、粘り強く取り組むことができる。	授業態度・忘れ物・発表など レポートやノート等の提出物 各種レポートにおける感想 など
	○自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	
	○自己の学習課題を設定することができる。 ○論理的な思考ができてい るか。 [課題に対する予想、結果に基づいた考察]	実験・観察レポートの考察 各種レポート(課題など) ペーパーテスト 定期テスト 小テスト 授業態度・発表 など
知識・技能	○新たな学習課題を設定することができる。 ○思考を問う問題を解くことができる。 ○発表の内容 [発想・的確な内容・推論・理由・考察などの面]	
	○実験・観察の基本操作 ○実験・観察レポートの工夫 ○ノートへの記録の工夫 ○作図や基本操作を問う問題を解くことができる。 ○発表のしかた(表現面から)	実験態度・技能 レポートにおける構成の工夫 ペーパーテスト 定期テスト 小テスト 自由研究の構成 など
	○知識・理解を問う問題を解くことができる。	

第3学年

理科

1 理科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

自然の事物現象に常に疑問を持ち、それについて考えて調べる習慣をつけることによって、よりよく問題解決する能力を身につけよう。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。（知識・技能）
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。（思考・判断・表現）
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス3（啓林館）	持ち物	・教科書 ・理科の完全学習 ・ファイル
	副教材 理科の完全学習		

4 学習の取り組み方

学習の進め方	<授業中> ・話をしっかり聞く。特に実験をする前は、実験方法をしっかり聞き、実験方法を理解してから実験ができるようにしておく。 ・わからないところを明確にして、必ず克服する。（先生、友達、調べる） ・ノートは黒板に書いたことだけでなく、先生の話が重要と感じたときは、ノートに書いておく。また、自分がテストの前に見返してみてもわかりやすいように工夫しておくといよい。 ・内容に興味を持ち、積極的に挙手をして発表する態度で授業にのぞむ。 <家庭学習> ・授業後の復習が大切。実験したことや学習したことを振り返って身につける。 <定期テスト> ・日頃から、しっかり復習し、プリントや実験方法、結果などの問題を中心に学習を進められるようにする。 ・テスト前後にノートの点検を行う。日頃から注意してまとめておく。
	学習の注意 ・チャイムが鳴るまでには、授業の準備を終え、着席する。（特に理科室への移動） ・理科室で実験をするときは、まず、実験方法をしっかり聞き、準備・実験・観察・片づけを班全体で協力しあう。人任せにせず、自分が理解をして事故の無いように注意して行う。 ・宿題の提出期限を守る。 ・忘れ物をしない。

5 1年間の学習計画

学期	月	単元計画	確認
前期	4	◇生命◇ ○生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	中間 確認 期末
	5	◇物質◇ ○化学変化とイオン	
	6	1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	
	7		
		◇エネルギー◇	
	9	○運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動	
後期	10	3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーと その移り変わり	中間 確認 学年末
	11	5章 エネルギー資源とその利用	
		◇地球◇ ○宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ	
	12	2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	
	1	◇環境◇ ○自然と人間 1章 自然界のつり合い	
	2	2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展	
	3	4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	

6 評価について

評価の観点		評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	○自己の発想に基づいた課題を持ち学習に取り組み、その学習から新たな課題を見いだすことができる。 ○学習した内容の未到達部分を克服するために、粘り強く取り組むことができる。	授業態度・忘れ物・発表など レポートやノート等の提出物 各種レポートにおける感想 など
	○自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	
思考・判断・表現	○自己の学習課題を設定することができる。 ○論理的な思考ができてい るか。 〔課題に対する予想、結果に基づいた考察〕 ○新たな学習課題を設定することができる。 ○思考を問う問題を解くことができる。 ○発表の内容 〔発想・的確な内容・推論・理由・考察などの面〕	実験・観察レポートの考察 各種レポート（課題など） ペーパーテスト 定期テスト 小テスト 授業態度・発表 など
知識・技能	○実験・観察の基本操作 ○実験・観察レポートの工夫 ○ノートへの記録の工夫 ○作図や基本操作を問う問題を解くことができる。 ○発表のしかた（表現面から） ○知識・理解を問う問題を解くことができる。	実験態度・技能 レポートにおける構成の工夫 ペーパーテスト 定期テスト 小テスト 自由研究の構成 など